



2015年3月期 第1四半期 決算説明会
富士重工業株式会社

取締役専務執行役員CFO 高橋 充

2014年7月31日

<http://www.fhi.co.jp/ir/index.html>

2015年3月期 第1四半期決算 サマリー



2015年3月期 第1四半期 実績

- 北米や中国等でフォレスターの好調な販売が続き、新型WRXも海外市場での台数増に寄与したことから、第1四半期として過去最高の連結販売台数を記録
- 為替レート差に加え、販売台数増加による売上構成差の改善や、原価低減の進捗により売上高、各利益ともに第1四半期として過去最高を記録

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	連結販売台数
実績 (対前年実績)	5,934億円 (+465億円)	787億円 (+91億円)	806億円 (+161億円)	522億円 (+38億円)	193.7千台 (+2.5千台)

2015年3月期 計画

- 期初に発表した通期計画達成に向け進捗中
- レガシィ、アウトバック、レヴォーグなど新型車投入効果により、諸経費等の費用増加を打ち消し、売上高、各利益、連結販売台数において3年連続での過去最高業績を見込む

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	連結販売台数
計画 (対前年実績)	2兆7,200億円 (+3,119億円)	3,400億円 (+135億円)	3,300億円 (+156億円)	2,150億円 (+84億円)	916.0千台 (+90.9千台)

<http://www.fhi.co.jp/ir/index.html>

1



2015年3月期 第1四半期 実績

第1四半期実績 連結完成車販売台数



(千台)

	2014年3月期 1Q実績	2015年3月期 1Q実績	増減
登録車	28.8	20.4	▲8.4
軽自動車	12.0	6.8	▲5.2
国内合計	40.7	27.2	▲13.5
米国	106.4	112.4	+6.0
カナダ	9.4	10.8	+1.4
ロシア	2.5	4.0	+1.6
欧州	7.2	6.9	▲0.4
豪州	11.6	9.4	▲2.2
中国	5.7	15.7	+10.0
その他	7.6	7.3	▲0.3
海外合計	150.4	166.5	+16.1
合計	191.2	193.7	+2.5

<http://www.fhi.co.jp/ir/index.html>

※ 中国：暦年決算1~3月

3

2015年3月期 第1四半期の連結販売台数は、前年同期比2千5百台の増となる、19万3千7百台となり、第1四半期として過去最高を記録しました。

国内では、消費税増税後の反動による需要減少や、レガシィの経年化による台数減少などもあり、1万3千5百台の減となる2万7千2百台となりました。

海外では、フォレスターの好調な販売が続く米国や、全ての車種が前年実績を上回った中国がけん引役となり、1万6千1百台の増となる16万6千5百台となりました。

第1四半期実績 連結業績



(億円)

	2014年3月期 1Q 実績	2015年3月期 1Q 実績	増減
売上高	5,469	5,934	+465
国内	1,577	1,162	▲416
海外	3,892	4,772	+880
営業利益	696	787	+91
営業外損益	▲51	19	+70
経常利益	645	806	+161
特別損益	▲4	1	+5
税前利益	641	807	+166
当期純利益	485	522	+38
単独為替レート	¥98/US\$	¥102/US\$	+¥4/US\$

<http://www.fhi.co.jp/ir/index.html>

4

売上高、各利益ともに、第1四半期として過去最高を記録しました。

売上高は、海外での売上台数増加による売上構成差の改善+235億円に加え、為替レート差+195億円、カンパニー等での売上増加+35億円により、前年同期比465億円の増収となる、5,934億円となりました。

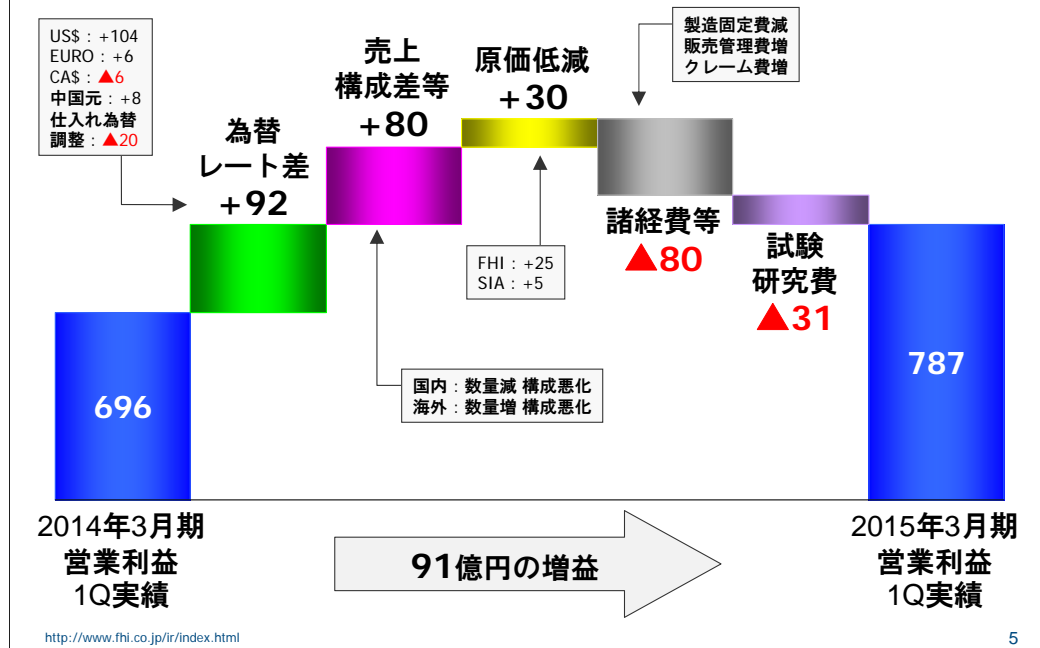
営業利益につきましては、諸経費や試験研究費の増加を、為替レート差や売上構成差の改善、原価低減の進捗で打ち消し、91億円の増益となる787億円となりました。

経常利益は161億円の増益で806億円、税前利益は166億円の増益で807億円、当期純利益は38億円増益の522億円となりました。

第1四半期実績 営業利益増減要因



(億円)



5

前期実績696億円から今期実績787億円へと、91億円の増益となった、営業利益増減要因です。

増益要因は、

<1>為替レート差で+92億円です。ドルは約4円の円安で+104億円です。ユーロは約14円の円安で+6億円、カナダドルは約3円の円高で-6億円です。中国円で+8億円、富士重工と海外子会社の仕入れ為替調整で-20億円となりました。

<2>売上構成差等で+80億円です。内訳は3つに分かれます。

①新車国内は-94億円です。6月後半から新型車レヴォーグの販売が始まったものの、消費税増税後の反動減により既存車種の台数が減少したことから、数量、構成ともに悪化しました。

②新車海外は+197億円です。米国や、中国での販売台数増加が寄与しました。

③在庫調整等で-23億円です。

<3>原価低減で+30億円です。そのうち、富士重工が+25億円、SIAは+5億円です。富士重工では生産台数の増加等により、原価低減が+41億円、原材料・市況等については-16億円となりました。SIAでは原価低減が+3億円、原材料等は+2億円となりました。

一方、減益要因は、

<4>諸経費等の増で-80億円です。内訳は3つに分かれます。

①製造固定費の減少により+10億円です。そのうち、富士重工が+11億円、SIAは-1億円です。

富士重工では、外製型費の減により+19億円、固定加工費の増で-8億円です。SIAでは、外製型費の減により+4億円、固定加工費の増加により-5億円となりました。

②販売管理費の増加で-60億円です。富士重工では、販売台数増加に伴う運賃梱包費の増加はありましたが、広告宣伝費などの減少により+3億円となりました。国内ディーラーは+5億円、SOAは-31億円、カナダ子会社は+1億円、その他で-38億円となりました。

③クレーム費の増で-30億円です。

<5>試験研究費の増加で-31億円です。

以上で、2015年3月期 第1四半期の連結営業利益は、91億円の増益となる、787億円となりました。

連結貸借対照表



(億円)

	2014年3月末	2014年6月末	増減
総資産	18,884	18,484	▲399
流動資産	12,738	12,052	▲685
固定資産	6,146	6,432	+286
有利子負債	2,697	2,574	▲123
純資産合計	7,701	7,997	+296
利益剰余金	4,839	5,118	+279
自己資本	7,655	7,934	+279
自己資本比率	40.5%	42.9%	+2.4
D/Eレシオ	0.35	0.32	▲0.03

<http://www.fhi.co.jp/ir/index.html>

6

総資産は、当期純利益の増加はあったものの、前期の税金支払いや前期末の配当支払い等もあり、2014年3月末に比べ、399億円の減少となる、1兆8,484億円となりました。

有利子負債は123億円の減少となる、2,574億円、純資産は296億円の増加となる、7,997億円となりました。

自己資本比率は42.9%、D/Eレシオは0.32となっています。

第1四半期実績 連結キャッシュフロー



(億円)

	2014年3月期 1Q 実績	2015年3月期 1Q 実績	増減
営業活動CF	712	3	▲709
投資活動CF	▲196	▲166	+30
フリーCF	516	▲163	▲679
財務活動CF	▲186	▲367	▲182
換算差額	58	▲26	▲84
手元資金増減	389	▲556	▲944
手元資金合計	3,679	5,023	-

<http://www.fhi.co.jp/ir/index.html>

7

営業活動によるキャッシュフローは、税前純利益807億円があったものの、法人税等の支払い1,138億円があり、3億円のキャッシュインとなりました。

投資活動によるキャッシュフローは、生産能力増強などに伴う投資活動があったことから、166億円のキャッシュアウトとなりました。

フリーキャッシュフローは、-163億円です。

財務活動によるキャッシュフローは借入金の返済や、配当の支払いなどにより367億円のキャッシュアウトとなりました。

第1四半期実績 海外子会社業績



(Million US\$)

SOA	2014年3月期 1Q 実績	2015年3月期 1Q 実績	増減
売上高	2,633	2,875	+242
営業利益	22	61	+39
当期純利益	14	37	+23
小売販売台数(千台)	111.8	125.3	+13.5

SIA	2014年3月期 1Q 実績	2015年3月期 1Q 実績	増減
売上高	1,032	959	▲73
営業利益	37	63	+26
当期純利益	24	40	+16
スバル生産台数(千台)	44.3	41.9	▲2.5

<http://www.fhi.co.jp/ir/index.html>

8

SOAの小売販売は、フォレスター・XVに加え、新型WRX/STIの販売も好調に進み、対前年1万3千5百台増の12万5千3百台となりました。

売上高につきましても、\$242Mの増収となる\$2,875Mとなりました。

営業損益につきましても、数量・構成差+\$70M、販管費の増-\$31Mにより、\$39Mの増益となる、\$61Mとなりました。

SIAの売上高は、\$73Mの減収となる\$959Mとなりました。

営業損益は、数量価格構成差+\$22M、原価低減活動+\$5M、固定費増-\$1Mにより、\$26Mの増益となる\$63Mとなりました。



2015年3月期 見通し

連結業績計画



(億円)

	2014年3月期 実績	2015年3月期 計画	増減
売上高	24,081	27,200	+3,119
営業利益	3,265	3,400	+135
経常利益	3,144	3,300	+156
当期純利益	2,066	2,150	+84
単独為替レート	¥100/US\$	¥100/US\$	+¥0/US\$
連結販売台数	825.1 千台	916.0 千台	+90.9 千台
国内	181.6 千台	194.9 千台	+13.3 千台
海外	643.5 千台	721.1 千台	+77.6 千台

<http://www.fhi.co.jp/ir/index.html>

10

2015年3月期の連結業績計画につきましては、販売台数、業績ともに、期初に発表した計画から修正はございません。

計画達成に向け、これからも全社一丸となって取り組んでまいります。

設備投資・減価償却費・試験研究費・有利子負債



(億円)

	2014年3月期 1Q 実績	2014年3月期 通期実績 (a)	2015年3月期 1Q 実績	2015年3月期 通期計画 (b)	増減 (b) - (a)
設備投資	124	685	280	1,200	+515
減価償却費	133	549	127	660	+111
試験研究費	128	601	159	740	+139
有利子負債	2,967	2,697	2,574	2,400	▲297

<http://www.fhi.co.jp/ir/index.html>

11

設備投資、減価償却費、試験研究費、有利子負債につきましても、通期計画の修正はございません。生産能力増強のための投資や、将来商品に向けた試験研究など、計画に則った投資を行ってまいります。

ご参考 (1)

- ・ 連結営業外収支 / 特別損益
- ・ セグメント情報(事業別 / 所在地別)
- ・ 海外売上高
- ・ 単独販売台数
- ・ 通期業績計画

第1四半期実績 連結営業外収支 / 特別損益



(億円)

	2014年3月期 1Q 実績	2015年3月期 1Q 実績	増減
金融収支	1	0	▲0
為替影響	▲52	17	+69
その他	0	1	+1
営業外収支	▲51	19	+70
固定資産売却益	0	3	+3
投資有価証券売却益	1	1	+0
固定資産除売却損	▲4	▲5	▲1
その他	▲1	2	+3
特別損益合計	▲4	1	+5

<http://www.fhi.co.jp/ir/index.html>

13

第1四半期実績 事業セグメント別業績



(億円)

	売上高			営業利益		
	2014年 3月期 1Q 実績	2015年 3月期 1Q 実績	増減	2014年 3月期 1Q 実績	2015年 3月期 1Q 実績	増減
自動車	5,133	5,551	+418	649	752	+103
航空宇宙	243	292	+49	39	26	▲12
産業機器	77	75	▲3	2	1	▲0
その他	16	16	▲0	6	7	+1
消去・全社	/	/	/	1	1	▲0
合計	5,469	5,934	+465	696	787	+91

<http://www.fhi.co.jp/ir/index.html>

14

第1四半期実績 所在地別セグメント業績



(億円)

	売上高			営業利益		
	2014年 3月期 1Q 実績	2015年 3月期 1Q 実績	増減	2014年 3月期 1Q 実績	2015年 3月期 1Q 実績	増減
日本	2,233	1,898	▲335	686	611	▲74
北米	2,950	3,310	+359	73	163	+90
その他	286	726	+440	▲0	68	+68
消去・全社	/	/	/	▲62	▲55	+7
合計	5,469	5,934	+465	696	787	+91

<http://www.fhi.co.jp/ir/index.html>

15

第1四半期実績 連結海外売上高



(億円)

	2014年3月期 1Q 実績	2015年3月期 1Q 実績	増減
北米	3,115	3,549	+434
欧州	243	279	+36
アジア	201	646	+445
その他	333	299	▲35
合計	3,892	4,772	+880

第1四半期実績 単独販売台数



(千台)

	2014年3月期 1Q 実績	2015年3月期 1Q 実績	増減
国内生産	153.0	169.0	+16.0
国内売上	44.4	30.7	▲13.7
登録車	31.9	23.2	▲8.7
軽自動車	12.5	7.5	▲5.0
輸出台数	117.1	131.1	+14.0
海外生産用部品	42.9	45.0	+2.1
単独売上合計	204.4	206.8	+2.4

※ 国内生産台数にはトヨタ86を含む

<http://www.fhi.co.jp/ir/index.html>

17

通期計画 連結完成車販売台数



(千台)

	2014年3月期 実績	2015年3月期 計画	増減
登録車	126.1	143.7	+17.6
軽自動車	55.5	51.2	▲4.3
国内合計	181.6	194.9	+13.3
米国	441.8	490.2	+48.4
カナダ	36.0	40.4	+4.4
ロシア	15.3	19.3	+4.0
欧州	31.8	40.3	+8.5
豪州	39.5	40.1	+0.6
中国	44.8	57.3	+12.5
その他	34.3	33.5	▲0.8
海外合計	643.5	721.1	+77.6
合計	825.1	916.0	+90.9

<http://www.fhi.co.jp/ir/index.html>

※ 中国：暦年決算1～12月 18

通期計画 連結業績



(億円)

	2014年3月期 実績	2015年3月期 計画	増減
売上高	24,081	27,200	+3,119
国内	6,721	7,032	+312
海外	17,361	20,168	+2,807
営業利益	3,265	3,400	+135
経常利益	3,144	3,300	+156
税前利益	3,289	3,240	▲49
当期純利益	2,066	2,150	+84
単独為替レート	¥100/US\$	¥100/US\$	+¥0/US\$

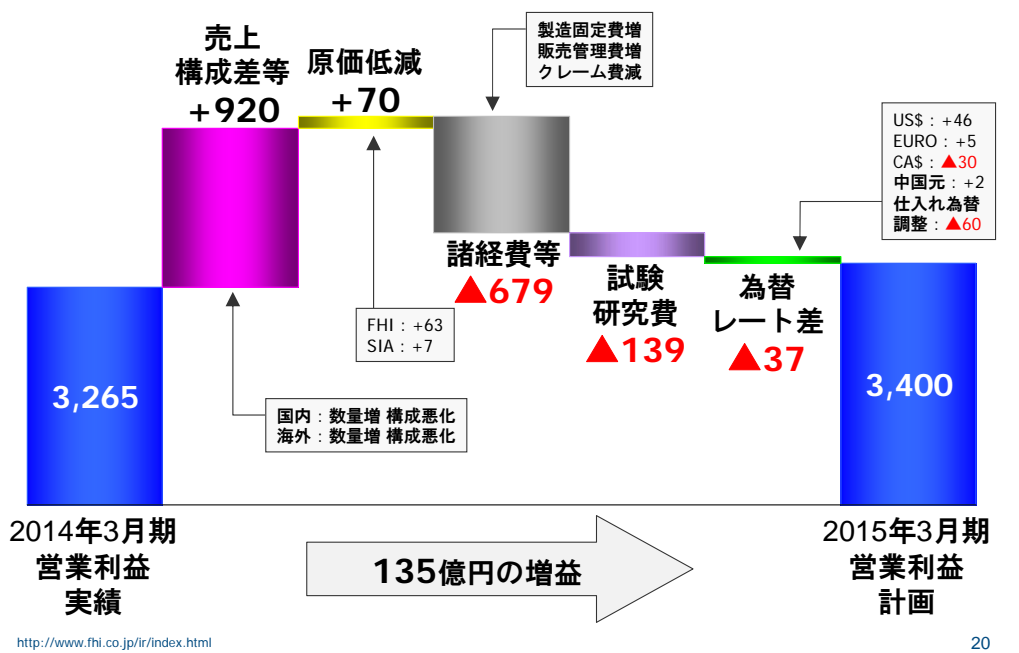
<http://www.fhi.co.jp/ir/index.html>

19

通期計画 営業利益増減要因



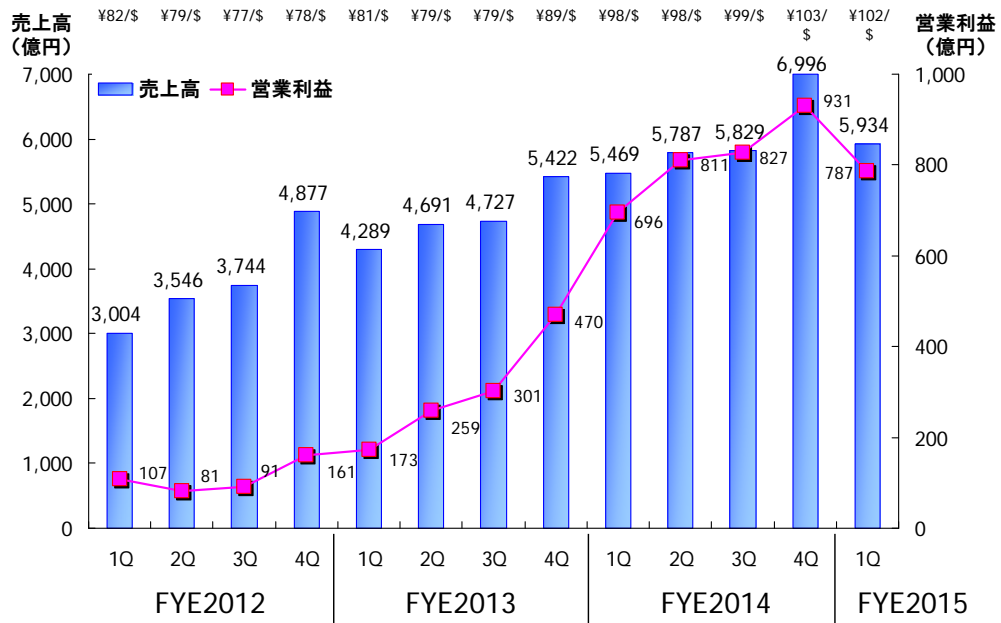
(億円)



ご参考 (2)

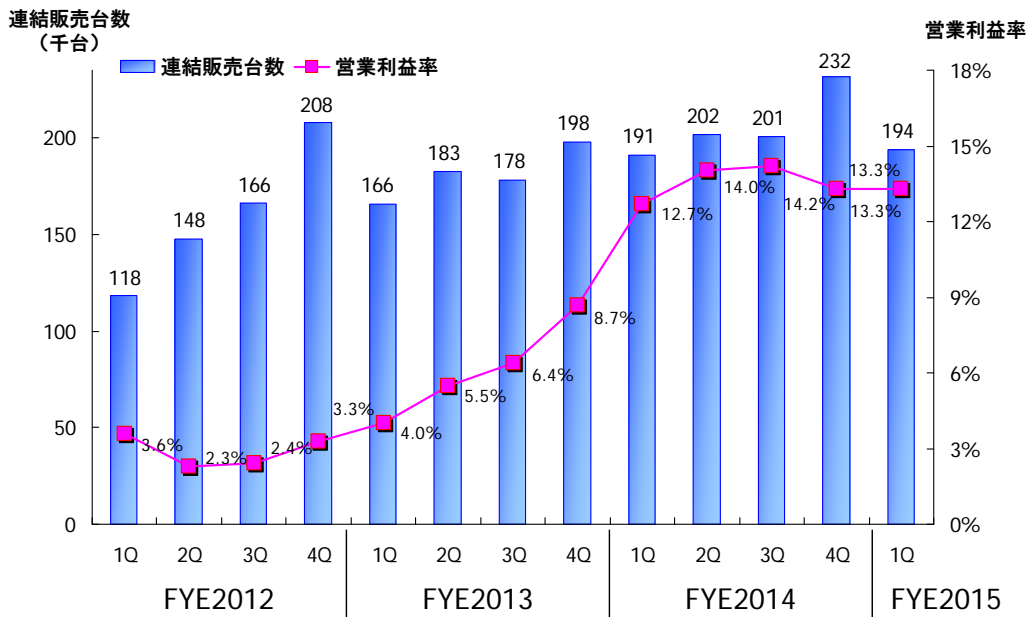
- ・売上高 / 営業利益 推移
- ・連結販売台数 / 営業利益率 推移
- ・生産台数 / 小売台数 推移
- ・FCF / 自己資本比率 推移
- ・有利子負債 / D/Eレシオ 推移
- ・主な広報発表案件

売上高 / 営業利益 推移



<http://www.fhi.co.jp/ir/index.html>

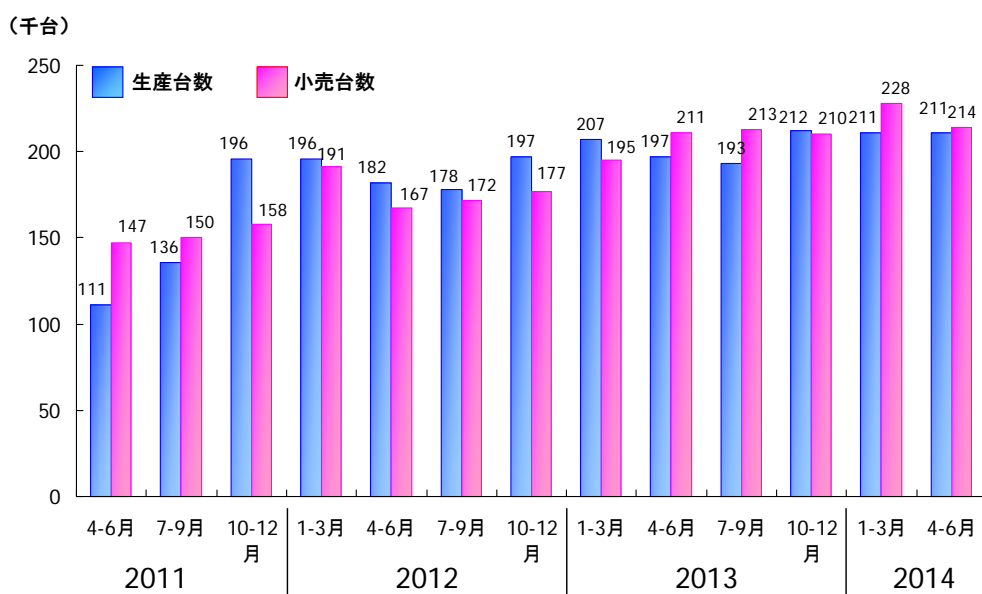
連結販売台数 / 営業利益率 推移



<http://www.fhi.co.jp/ir/index.html>

23

生産台数 / 小売台数 推移

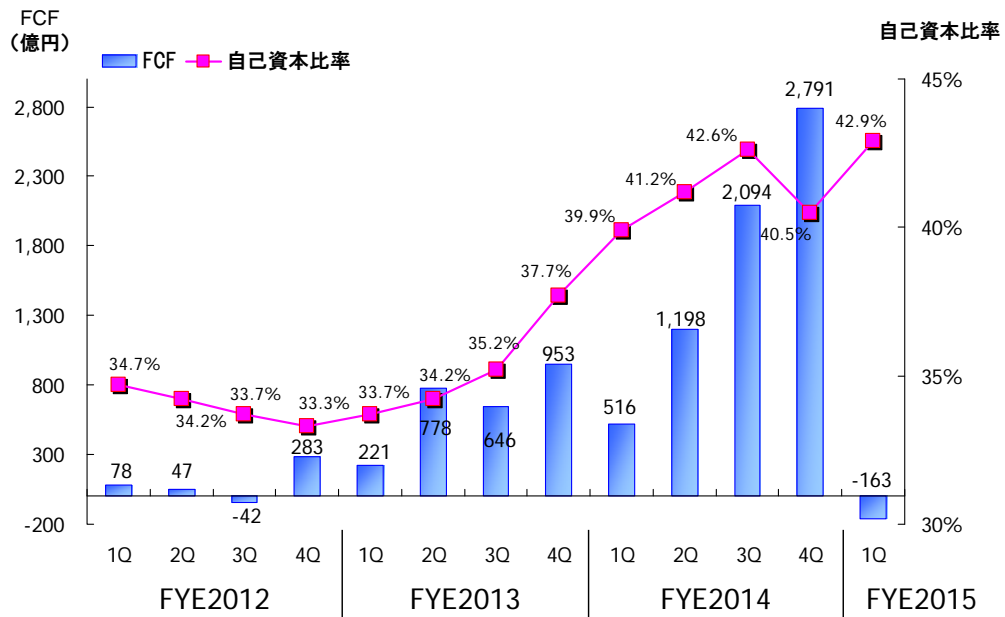


※ 生産台数にはトヨタ86を含む

<http://www.fhi.co.jp/ir/index.html>

24

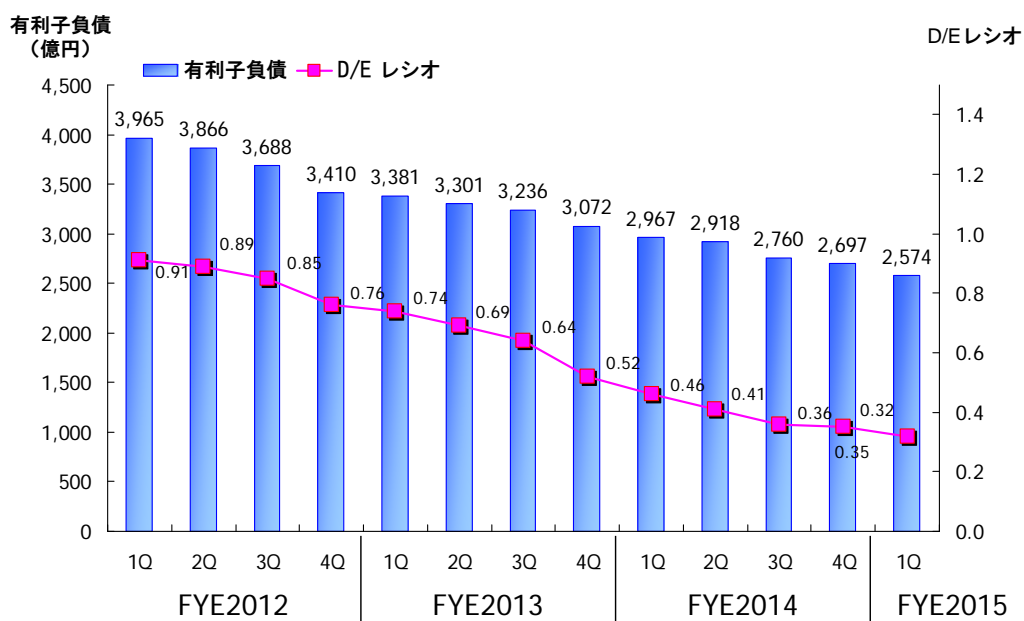
FCF / 自己資本比率 推移



<http://www.fhi.co.jp/ir/index.html>

25

有利子負債 / D/Eレシオ 推移



<http://www.fhi.co.jp/ir/index.html>

26

第1四半期 主な広報発表案件



(発表日)

生産・販売関係

- スバルの米国、カナダ、中国の年度販売が過去最高を記録 (4/3)
- 北米生産拠点における受託生産終了に関するお知らせ (5/9)
- レヴォーグ 全国試乗イベント『LEVORG DRIVING EXPERIENCE』を全国7会場で開催 (5/22)

商品関係

- 新型「アウトバック」を2014年ニューヨークショーにて世界初公開 (4/3)
- 新型「LEVORG (レヴォーグ)」を発表 (4/15)
- 新型「アウトバック」を発表 (4/18)
- SUBARU BRZ を改良 (4/22)
- スバル トレジアを改良 (5/12)
- 新型WRX、WRX STIが米国IIHSの2014年安全評価で「トップセイフティピック (TSP)」を受賞 (5/14)

その他

- 新中期経営ビジョン「際立とう2020 (Prominence 2020)」を策定 (5/9)
- 「自動車リサイクル法」による2013年度再資源化率等の実績を公表 (6/2)
- 2014年ニュルブルクリンク24時間耐久レースに出場 (6/11)
- 次世代大型旅客機「777X」の開発・量産参画へ覚書... (6/12)

<http://www.fhi.co.jp/ir/index.html>

27



本資料に記載されている計画、戦略などのうち、歴史的事実でないものは、現在入手可能な情報、予測に基づいた仮定、および判断であり、様々なリスクや不確実性を含みます。将来における当社の実際の業績は、当社を取り巻く経済情勢、需要や為替レートの変動などにより、これらと異なる結果となる場合がございます。従いまして、この見通しのみ全面的に依拠されることは避けて頂きますようお願い致します。

<http://www.fhi.co.jp/ir/index.html>



SUBARU

<http://www.fhi.co.jp/ir/index.html>